

---

## 編集後記

---

本学会誌 34 巻 1 号の編集が無事に終了し、発刊の運びとなりました。本号は原著論文を中心とした充実した内容で構成されており、本学会が目指す臨床スポーツ医学の多様性と専門性を反映した構成となっております。

原著論文では、高校部活動におけるトレーナーの活用と顧問教員の健康状態および満足度との関連を全国調査した研究、腰椎分離症の予防を目指した運動プログラム介入の即時効果を検証したパイロットスタディ、COVID-19 流行前後での茨城県内陸上競技大会における傷病調査、ランニングシューズのプレートがランニング障害の原因となる下肢動作に与える影響を解析した研究など、現代のスポーツ医学における重要なテーマが取り上げられています。

特筆すべきは、鼠径部痛を訴えたスポーツ選手に対する MRI 撮像の意義を明らかにした研究や、野球少年のボールの持ち方の特徴を手・指の長さとの関連から分析した研究など、画像診断や動作解析といった科学的手法を用いた実践的な研究が多数掲載されている点です。これらは臨床現場での診断・治療・予防に直結する知見として、多くの会員の先生方にご活用いただけるものと確信しております。

また、COVID-19 流行が競技会や選手のコンディションに与えた影響を検証した研究は、パンデミックという特殊な状況下でのスポーツ医学の役割を考える上で貴重な記録となるでしょう。今後、これらの知見をもとに、より安全で効果的なスポーツ活動の支援体制を構築していくことが期待されます。

本号に掲載された研究は、成長期アスリートから生涯スポーツまで、また外傷・障害の予防から診断・治療・復帰支援まで、幅広い領域をカバーしており、まさに「臨床スポーツ医学」の総合性を体現する内容となっております。今後も本学会が、多職種連携による包括的なスポーツ医学の発展に貢献し続けることを願っております。

(中山晴雄)

---

### 日本臨床スポーツ医学会誌 第 34 巻 第 1 号

2026 年 1 月 31 日 発行

編集者 一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会 編集委員会  
勝川史憲 (委員長), 磯 良崇, 鎌田浩史, 蒲原一之  
高木 博, 高澤祐治, 武富修治, 友利杏奈, 鳥居 俊  
中嶋耕平, 中山晴雄, 難波 聡, 広瀬統一, 藤谷博人  
星野祐一, 三谷玄弥, 山崎哲也, 山本利春, 吉川貴仁

発行者 一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会  
〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-14  
新富田所ビル 4 階  
一般社団法人 会議支援センター内  
TEL : 03-6222-9874/FAX : 03-6222-9875  
E-mail rnspp@rinspo.jp

制作 株式会社 杏林舎